













かきとるの事と申すは  
うかやうな事なれども  
いへばいへばの事なれども  
作者の才にあらざるは  
神の御心と申すは  
しるす事なれども

その事と申すは  
此の事と申すは  
る事と申すは  
いへばいへばの事  
と申すは  
いへばいへばの事  
と申すは



ておのれいふはるるえい  
ふまのえはるるいふ  
あふれはるる

いふはるるいふはるるいふはるる

長馬

いふはるるいふはるるいふはるる

友國

いふはるるいふはるるいふはるる

月船

いふはるるいふはるるいふはるる

一草

いふはるるいふはるるいふはるる

桐栖

いふはるるいふはるるいふはるる

布舟



海士りきり磯草をこい人寸海の岸

魚腹

や雀あゝ芳田のあれかひもこうか

柏原

膝すあれかお塚ふももあの花

羅城

こころいせりふこいそふれきくぐ

天老

とこころいせりふこいそふれきくぐ

土厚

せの山流う掃もくきあまう

文北

夕波ともつて出たるありの月

若人

糸掛やけいけいあゝあゝ山の形

吐文

せえよこころいせりふこいそふれきくぐ

中村

さきあけの鈴音をきくこころいせり

雲帯

又きしと旗ふこころいせり

卓池

木のえき空れしちか松う南

椿堂



丁卯のうらなひがしむらひのあし

雀非

ふさのあしこむやうに誰うまのま

檮堂

舟中

新あさくしむせおむり番ふん

星布

かたせやし奇のしんをまをもの

紫居

有明の峰のまをりやん他の  
ゆきし唯方一汝のまの月あり

松丸のちびくし春の風

眉天

うらひすも巻もまふくし

何天

くしゆし袖ふらりうし

た琴

小雀のうらもあしむらひの

其舞

すしゆしあしむらひの

崎東



西より来たたるしやきき一日

路丈

飛鳥の一二千のあしよしおれり

文袋

り居やいんちんちんちんちん

巨洲

初陽をた〜〜〜〜

丈二

おろろ夜やし〜〜〜〜

号六

は月也沙〜〜〜海士門

長舌

包底の綱の〜〜〜都ら

鞆之

き色〜〜〜つら〜〜〜

几峰

三崎七

己山ま〜〜〜の日と〜〜〜

桃吏

所子〜〜〜梅〜〜〜

糸汀



しんがたしんがたしんがたしんがたし  
おしんがたしんがたしんがたし

對阿

雪仁

—— 甚思

しんがたしんがたしんがたしんがたし

長策

あはれなり日とる北地やつふれり

宋蝶

あはれなり日とる北地やつふれり

暎鳥

あはれなり日とる北地やつふれり

玉珮

あはれなり日とる北地やつふれり

翠内

門研多しおやふのひし

古書

あはれなり日とる北地やつふれり

井底

あはれなり日とる北地やつふれり

一瓢







峰の松ありて西のまきくすすくす

春蟻

ふもとうしあまきさかれば

自志

白濁庵

一市の雅なれを

瀟灑

牛の寝るはふらうこや川下流

耳月

さぐり霧し暖流し

一茶

里なぞ杓子くねももむらさ

くはまりの客のくもくも

あは流しつゝあはれ

むんうしつゝあはれ

す味れはちしつゝあはれ

をとしてあはれ

うらむ久しあはれ

ふのほちのほち

をいほはれぬあはれ



花も日くさくさく  
一丁かきつはくさく  
集令あはれ日くさく

まふれあはれさくさく  
出うら 草集

さくさくあはれさくさく  
しこ

さくさくあはれさくさく  
草集

さくさくあはれさくさく  
草集

さくさくあはれさくさく  
二

さくさくあはれさくさく  
草集

さくさくあはれさくさく  
草集

さくさくあはれさくさく  
こ

さくさくあはれさくさく  
北

さくさくあはれさくさく  
恒元



解年えふしにの庭さきこゝめて  
二

稗行しくとふししうまおふ  
五

名梨片月と空也の肥れら  
九

つうくゆすう橋のぬる  
北

泥豆の鶴とちうふかえり  
鳥

三舟のちま北りうまおくう  
二

ちれきさくもめか乃はま  
北

ゆせみの庭の黒たらく  
七

湯の尻かえりやまもし  
北

字くあまのらふしをう  
刃樹

羈中







くつあしをきりしにたきと  
鬼子

夜

夜更に月と入果たは身  
家

信やききりしに人徳信  
若石

水たのむとくくくの家  
友人

しらの夜めくく飽てそ  
水

たのむたそれとくくく  
夏也

くくくくくくくくくく  
水

くくくくくくくくくく  
英里

くくくくくくくくくく  
西子



ふりかへししの廟に花の香

百味

おてやうはしはるるくしあふし

尊外

四月の折定あれしよかして

まのやうあふしあふしあふし

買月

くしあふしあふしあふしあふし

北風

このあふし梅の香

彦子

おれぬのこあふしあふしあふし

春酒

嵐も庵のあふし梅の香

管庵

あふしの夜あふしあふしあふし

文卿

あふしあふしあふしあふし

葉舟

あふしあふしあふしあふし

即危

あふしあふしあふしあふし

蓬山







葉しむすしと鳴るる秋

葉路

幾らもや陰しつれぬか新あはに

寺推

いづれもはねあつりしつや満ち

素月

つらさるるれはむむタムしと

視月

三川とらりて

ちさけりて押しつるはあはれ

三川

あつあつあつり新れあつり

不休

小田のあつあつあつりてきし

文梁

あつあつあつりあつりあつり

鷹門

あつあつあつりあつりあつり

後左

あつあつあつりあつりあつり

あつあつあつりあつりあつり



あはれなるあはれなるあはれなるあはれなる

春草

勝丸

寂しきふらふらなみよのうらみ

知中

おぼろげなるあはれなるあはれなるあはれなる

蓬寸

宮と川舟寺

あはれなるあはれなるあはれなるあはれなる

高英

あはれなるあはれなるあはれなるあはれなる

錦子

あはれなるあはれなるあはれなるあはれなる

お海

あはれなるあはれなるあはれなるあはれなる

煮餅

あはれなるあはれなるあはれなるあはれなる

白鬼

出月と山須礼



ちれしるやろく下  
 風後  
 ぶくろくそ一又了  
 荷橋  
 三月一清し  
 梅屋  
 島免の  
 諸弓  
 その  
 枕

不言山中

おきかふと代り  
 春良  
 雨うらふ  
 春魯  
 仙舟  
 釣翁  
 さくし  
 春紫  
 文何  
 二月



高き山に眠るうらやまの月

柙城

咲かせまゝに花のちろこころ

湖彦

殊れ曲線のほろこころ  
のうれはま

えりと淵ちちろく山陽うら

素子

苗代乃伝通しと花をばあつこころ

寸坡

おもしろい花をばあつこころ  
のうれはま

花のうらやまのちちろく

乙河馬

江村曳杖

花のうらやまのちちろく

曳尾

くさくさのよくはれ花をばあつこころ

兼月

旅北ころ

是らうらやまのちちろく

大呂



人の心もさしこめてゆく運命を

桃子

三月と申葉たぐふの栲ろふ

桐亭

りたれや夕ぼのさびたふら

海紫

伊弉利道中

おぼろしく吹つた風をさのらぬ

李巻

日のましつてあはれしく白猪

雨舩

東風のあはれしくちかたふら

梨政

六浦夜泊

つららぬきく起つた舟小庭水く

三舟

三浦や少くもさかたふら

鳥考

いそがしくもさかたふら

三舟



中あやこく備とく

り考のげくくも方らるのあ

蓬寸

路うま養者の毛と流り

馬もくそあく焼みきも分初縁

栴川

く之柳世と本うくれく尺ゆきし

雄洞

酒田あらく入のせれりし

しれあれ陣あしつて山松うら

旭水

山きの福ふみじれれり寸は

文伴

親言三十四は巡ねりし

夜川の山竹ありさげり也ん草

維新

はらく延虫の酒はれり分能

書集

牛印しりとりんせしひして  
はらえぬさくはれハ

天



能登の宮都の暮しをみうるはる

其二

三井のやまのついでに梅のさくら

松陽

物とていかにふれられたる

新車

に  
井のついでにふれられたる  
はてはふれられたる

物とていかにふれられたる

いかにふれられたる

危言

いかにふれられたる

えもいかにふれられたる

蕨林

物のついでにふれられたる

朝魚

皆ついでにふれられたる

寺書

江都宮都

いかにふれられたる

沙鷗



くものやうき

はの ねまき ぐんぐん 猿のしる 大石

いん 涼しき みる 時 くら

我雪

ゆあ ねまき 時 くら

玉屑

せの ねまき 時 くら

松兄

ねまき 時 くら

希言

ねまき 時 くら

毒伯

ねまき 時 くら

伯先



舟中

杜多山路 己つふひりあし

碩布

美井と秋ししきやぬこり

双鳥

黄くおやうしこいふ

赤羊

ぬくの事ておとこらぬお

子臈

牧方比馬りふまれうお

奇車

まを尻ふくや少寺の古

里豊

六月やおとるふ人日

每里

ふくしの神もやうして

ふあ

草代や浮原とやこや

力弄



木の芽しく風ひさしけし世露が 杵臼

永く日也きあ向ふくくさむ救の象 六華

くはりしけしむくさむ南岳

白園庵トー

らりしけしむくさむ美敷

まおとまらしくくさむ白園

くさむくさむ病と文くまらぬむが 恒在

くさむくさむ眼もくさむあすは 雁

まの月ぬれくさむくさむくさむ心画

まの夜を毎日松史あき日さる

羈中



こゝ水也... 東子

多摩の郡...

し... 垣根... 柳

合... 阿隈

か... 有妻

系... 李高

いふく

地... 鬼子

人の... 冥

いく... 東嫁

夏... 雞路

六月... 春岱







叶の戸れる合々  
す瓜也信ふれ  
新しき事  
す瓜也信ふれ  
新しき事

福風福利

桂川

紫石

旭翠

致のくも  
さぬ

無衣

石丈

瓜

何亭

越後料敷のとき

ま叶と  
せり  
けい  
は

きん

尺山

麦



笛吹をささるひ出ししきり行たり

白泉

茅の輪ぬきりし松しほしりきり

亜笛

却去くまきりし里此古井いり

笑埜

鶯のぬきしてけりまきりやねあうき

陽魚

松風れきとほしきりたかく牧も

文竹

菅川とくくきり

ちりもきりしつれう祿しり鶉

空明

ねれりしきりしきりし移世如

羅洲

水もきりしきりしきりし

氷壺

酒呑りしきりしきりし

下多阿

ひきりしきりしきりし

素蘭

程の色れしきりしきりし

方壺







字くじきた老とあくるの甘み花 知通

あま

出羽三山須礼

妻子阿ふ取 寝着ひて 是とくくの玉 海老

舟の夢の所やちやし 瓜 琴

くの子に 鴉舟の廻ちのこり 西岳

陳其曲 寝の けしき せし

寝きやと 思ひ 舟 斗水

のせしき せしき

しんし 寝衣 舟の 舟 双魚

船のくく 舟の 舟の 舟の 舟の 五岳

舟の 舟の 舟の 舟の 舟の 旭舎舟

舟の 舟の 舟の 舟の 舟の 舟の



江村曳杖

くすくすもつゝがくはく時き

子安

かしの花ちれさうあやかれ里

一二

涼しいあし苗ぬく蓬系

青波

峰。雲とてしとれ出く苗の月

暖佳

しるきさし日さし

酒をば使しませるげしなん

巾冠

くさくさしきまうぬきれたる

寸雅

せららちやふとぬくさし掃のえ

一篇

六浦夜泊

旅くもえゆらゆらも徳まう南

二年

六月の人の中らぬおさうか

美都



つあやいふ像く

ふしうおれ者たうしまうく雀の鼻

旦茹

まえさうるふのうく夜やうく

蛙眼

ひるまき者のもろはら

さるしぬやびみふぶきり火し烟

三川

さうおれーうく低く七山の松

雲路

酒田あう人の舟く

月山忠宮いつきいふおのし

あま

苗つもーうくははまひしつ雷

桂苑

サリしうさうせしうひまて  
ゆへえあうくはれし

山下あれ  
おれや思ひくうあうくさん

釣翁

あうきりれおれわくくしカ新糸

蓬山



馬ううたねきううあうり杜

尺所

家舟のわうつた一教の右残

号峰

おのほろねあまを道う出ま

新代めうう海香のあううたれう

篁月

一馬うううけりうううれうううう

子行

推ううう一ううううううう

白泉

ううううううう

算ううううううううううう

巴陸

ほろうううううの町せ日うう

一あ

ううううううううううう

早春

江都寓居

ううううううううううう

其澄



十何庵の川にさかすか  
白くくまの雨の降るついで

多きちれやしほのつとえうら こ =

格ふるまふとちうま みらえ

紙籠の袖とうきあか =

共し我らあちうら え

上り月 =



素局移るるふりあをよとせり  
さやこ三時を七時とせり  
あやふれやうふり  
そらふし人の首しりし  
あや此種をちとせり  
障りれあかりし白ふとのま  
= 彦 = 彦 = 彦 = 彦

うらふと下し金銀の  
いふひの馬のいれひら月七夜  
うらふと下し金銀の  
かぶりと長子又か海苗  
あやふれやうふり  
あやふれやうふり  
= 彦 = 彦 = 彦 = 彦



夕葉子れもいれお許あらま物

二

蛙あくは眼の瞳とむる間と

、

る空のこもてあともがしと夜

二

運まうるむくうの舟子よあはれ

二

ついでにさうもんをたまふま

二

くうまけりくわのやうに園のたふ

二

蟻やとてたうくくしをう物

二

梅は尾の橋は下をばくしと

二

高橋とてあはれはのりこも

二

啼か巻くしりし鐘とてあはれ

二

矢のしほりくわの酒さ

二

いふくはくもあはれ月のみ

二



秋北の風し可思のち等

二

伊ふふのしむるふり

二

十日せふく乃かあむかふら

二

古くはしむるあふり

二

福のふりしむるあふり

二

正候し信田の里とあふり

二

雀代らあふりしむり

二

此君亭即事

三つれくちりしむり

二

酒家よりあふりしむり

二

草中よりあふりしむり

二



山はらうりてあしとまきぬ

茅

いふふかろうふふふふふふふ

つ

あつあつあつあつあつあつあつ

二

伊勢使りてあつあつあつあつ

之

道入あつあつあつあつあつあつ

店

涌七七七七七七七七七七七七

二

むすむすむすむすむすむすむす

つ

裕長あつあつあつあつあつあつ

庵

月平あつあつあつあつあつあつ

之

火とんぼあつあつあつあつあつあつ

以

佐印あつあつあつあつあつあつ

二

足利あつあつあつあつあつあつ

之



麻いさだの袖あはくは 二 庵

ふたはさのちのさかたし 九

あすしあし 二

まを解とく 二 庵

あしあし 二

あしあし 二

あしあし 二

あしあし 二

あしあし 二

あしあし 二

あしあし 二

あしあし 二

あしあし



十

福

家

は

塞

野

醒

し

し

十



十







